

小山 裕久 議員  
さんの未来



農業

### 認定新規就農者の年齢制限の緩和を

**議員** 今後、耕作が出来ない農地が今まで以上に増加すると考えられ、その解消には新しく農業を志す人の増加が重要である。市の認定新規就農者の年齢制限は45歳未満であるが、年齢制限を緩和し、新規就農者の増加につなげるべきでは。

#### 令和7年度中に要件緩和を実現する

**市** 担い手確保には新規就農者の育成が不可欠であり、市への相談件数も増加している。年齢制限の緩和は市の実情に即した効果的な手法であるため、見直しに向け国との協議を進めている。令和7年度中に要件緩和が実現できるよう、スピード感を持って取組を進める。(田村市長)

**他の質問** JR福知山線複線化工事に係る貸付金償還金について

佐貫 尚子 議員  
さんの未来



情報公表

### 市民への行政情報公表の方針と体制の改善を

**議員** 市民への情報公表は、迅速で分かりやすく誤解のない発信が不可欠であるが、三田市未来への財政ロードマップ(案)の公表では、ごみ袋の値上げの検討が市民に混乱を招いた。情報公表にあたり、リスク評価や関係部署との連携など発信体制の改善が必要では。

#### 市民目線に立った情報発信に努めていく

**市** 市民に影響を及ぼす政策形成や情報発信は、リスクのチェックや影響の予測、対策の要否を意識し、広報担当を含む関係部署との連携を強化して取り組む。市民が情報を正確かつ安心して受け取れるよう、市民目線での情報発信に努める。(西田副市長)

**他の質問** 市道区画線の剥離対策について 他

福田 秀章 議員  
創志会



農業

### 10年先を見据えた農業振興に向けての取組は

**議員** 基幹産業である農業を取り巻く課題に対し、将来の展望を示す具体的な方向性が見出せていないのが現状ではないか。第5次三田市農業基本計画で描くビジョンに向けて、どのように取り組んでいくのか。

#### 三田の農の将来像実現に向け、取組を推進する

**市** 市の農業は一律的な施策を講じることで課題が解決するものではなく、それぞれの地域の実情にあった対策を効果的に講じる必要がある。第5次三田市農業基本計画で目指す三田の農の将来像実現に向け、農業を持続していく対策など多様な角度から推進する。

(田村市長)

**他の質問** 第5次三田市総合計画後期基本計画の策定について 他

木村 雅人 議員  
日本共産党三田市議団



財政

### 毎年3億円の基金積立は毎年度の予算を圧迫するのでは

**議員** 新病院整備費の企業債元利償還がピークとなる時期に備え、今後10年間にわたり毎年3億円を基金に積み立てるとしているが、歳出予算枠を毎年3億円分圧縮することとなり、市民サービスの低下・削減が生じるのでは。

#### 重要な市民サービスを守るための未来への投資

**市** 積み立ての実施は、予算編成の中であらかじめ次年度に必要な市民サービスの質と量を見積もり、その歳入歳出予算を確保した上で行うものであり、市民サービスの低下には当たらず、安定的な医療サービスの提供のための未来への投資と考える。(田村市長)

**他の質問** 三田市民病院の経営状況について 他

假屋 浩司 議員  
創志会



定住支援

### 2世代定住支援を促進する市の方針は

**議員** 三田で育った人が住み続ける2世代定住は人口減少対策として重要であり、子育て支援や地域維持など多面的な効果を生み出す。本施策の位置付けと独自支援について、市の見解を伺う。

#### 住み替え支援補助で市内定住を後押しする

**市** Uターン促進に加え、市内で育った若者の定住を優先事項として、住宅取得を支援する「住み替え支援補助事業」を展開し、転入だけでなく市内の賃貸住宅から持ち家に住み替える場合も対象とするなど、市内定住を直接的に後押ししている。今後も支援を強化し、世代を超えて選ばれるまちの実現に取り組む。(田村市長)

**他の質問** 市内水道事業者の公共工事について

福田 佳則 議員  
公明党



財政

### 重点支援地方交付金の活用は

**議員** 重点支援地方交付金は、単なる一時的な救済的給付にとどまらず多様な用途があるが、活用において、どの層を重点支援対象としているのか。また、スピード感ある対応について、市の見解を伺う。

#### 速やかな事業実施に向け、検討を進める

**市** 国の特別加算の趣旨も踏まえ、まずは支援の効果が市民の日常の隅々にまで及ぶ事業をできる限り速やかに実施することが肝要である。商品券や現金給付、公共料金の減免など、引き続き事業手法等について鋭意検討を進め、12月定例会会期中に改めて提案したい。(田村市長)

**他の質問** 防災・災害対策について 他

山崎 丈 議員  
市民とともに



教育環境

### 学校への不当要求に対する支援は

**議員** カスタマーハラスメントによって年度途中で担任が交代し、子どもたちや保護者が不安を抱える事態を生まないように、どのような取組を行っているのか。

#### 学校を支援する体制を強化している

**市** 県が実施する弁護士による法律相談会に学校が直接相談できる体制が整っている。さらに、市の「学校サポート制度」を拡充し、学校に弁護士を派遣して法的な助言が受けられるよう支援する体制を強化している。また、電話主装置を大規模改修時などに順次更新しており、電話の録音など使用する機能や運用は、学校現場の意見を聞きながら検討している。

(山本学校教育部長)

**他の質問** 地域内公共交通について 他

坪之内 幸司 議員  
創志会



学校再編

### 新統合中学校建設事業の進捗と今後の進め方は

**議員** 令和13年4月の新統合中学校開校に向けた現在の進捗状況や見通し、今後の進め方について伺う。

#### 基本構想及び基本計画の公表と情報発信に努める

**市** 現在、基本構想及び基本計画について令和7年度内の公表に向けた取組を進めると同時に、用地取得に向けた調整や物件調査等を行っており、令和8年度からは建設の基本設計・実施設計に着手できるよう準備を進める。今後、市民意見の募集について市の広報誌やホームページに掲載するとともに対象校区の保護者への周知や説明会の開催など、適宜適切に情報を発信していく。(加嶋教育長)

**他の質問** 農畜産業の振興について 他